



ライフコーポレーション<8194>、アルビス<7475>をTOBで子会社化



食品スーパー「ライフ」を展開するライフコーポレーションは、富山県・石川県を中心に食品スーパーを展開するアルビスを子会社化することで、店舗数拡大や商品ラインアップの拡充などの相乗効果を見込む。

併せて、共同配送による配送・生産効率の向上、将来的なシステムの共通化によるコスト削減にも期待している。2030年度の目標として掲げる売上高1兆円・店舗数400店の実現に向けた事業拡大の一環。

一方のアルビスは、ライフの傘下に入ること、PB（プライベートブランド）などの商品力の強化や調達力の強化、AI（人工知能）・IT投資による業務基盤の強化、出店体制の強化、ノウハウの共有などの相乗効果が見込まれると判断した。

アルビスはTOBに賛同し、株主に応募を推奨することを決めた。TOBが成立すれば、同社の東証プライム市場での上場は廃止となる。

買付価格は1株につき3780円。TOB公表前日の終値2501円に51.14%のプレミアムを加えた。買付予定数は696万6769株。下限は所有割合49.92%にあたる417万1200株に設定した。買付代金は約263億3400万円。

買付期間は2026年9月9日～11月10日の40営業日。決済の開始日は11月17日。公開買付代理人は大和証券。

アルビスの筆頭株主で株式16.62%を保有する三菱商事はTOBに応募しない。最終的にライフコーポレーションがアルビスの株式83.38%を保有し、三菱商事が残りの16.62%を保有する構図となる。

アルビスの前身は1968年に創業し、92年に現社名となった。1995年に名証2部に株式を上場し、2014年に東証2部に市場変更。15年に東証1部に昇格した（2022年4月に東証プライム市場に移行）。